



2010-2011

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

Rotary International District 2710

2011年6月号

VOL. 12



夜空に乱舞するホタル／三次市舌舎町

今月はロータリー親睦活動月間です 特別企画／地区内のクラブ親睦活動紹介

CONTENTS

ガバナーメッセージ	2
ロータリー親睦活動月間によせて	3
私たちのクラブ親睦活動を紹介します	4
第3回 派遣学生オリエンテーション・研修旅行報告	12
ロータリー財団 国際親善奨学生 面接選考会を終えて	13
RA年次大会を終えて	13
クラブ便り	14
ボリビアから地区の皆様へ	15
会員増減・出席率	16
第2710地区グループ紹介	18

地区ホームページ (HP) をご覧ください <http://ri2710.com/>



ロータリーの絆をもとう

～あくなき情熱と冷静で～



国際ロータリー第2710地区
ガバナー 前田 茂



ガバナーメッセージ

ガバナー 前田 茂

ロータリー親睦活動月間 東日本大震災報告

ロータリーの親睦活動は国際奉仕の一部門です。現在約80以上の親睦グループが存在し、ロータリアン同志の国際親善、親睦の重要性を強調している月間がこの6月であります。共通の職業的関心やレクリエーションへの関心をもつロータリアンの国際的親善を認識し、親睦活動への参加と理解を推進するためであって、単なるクラブやロータリアンの親睦活動を奨励することではないとあります。こうした親睦活動がこの度の東日本大震災においても国際奉仕プロジェクトとしてボランティアが実施されることにつながるものであります。尚これらのグループはR I 理事会が認めたものでありますが、R I から独立した活動をしています。

ロータリーは基本的に2つの原則があると言われます。一つはロータリアン同志の友情であり、もう一つは奉仕(サービス)の理念であります。ロータリーは知人ではなく、親しい友人のあつまりであるとのべられています。

ロータリーの親睦活動は少なくとも3ヶ国のロータリアンを有しR I、地区、クラブに法的、財政的責任を負わせないこと等が条件となっています。これら公式クラブの定例会合はメーク・アップとして認められています。

この一年クラブ会長をはじめ会員の皆様、ロータリー家族の皆様、そして地域社会の方々に多大なる支援や、ご教示を賜りましたことに心よりお礼を申し上げます。年度頭初のゲリラ豪雨災害から始まり、尖閣諸島事件、竹島・北方領土の日本外交課題、リーマンショック以来の景気停滞、政治的戦略目標の不透明感等々、ロータリー関連では四大奉仕が新世代奉仕を加えて五大奉仕に、日本から四人目のR I 会長ノミニに田中作次氏が指名される、2010年規定審議会が開催された、そして何といたっても今年度最大のニュースは東日本大震災であります。本年3月11日、マグニチュード9.0というかつて世界でも経験したことの無い地震

による大津波がおしよせ、町ごと押し流されるといふ大惨事は未曾有の自然災害となりました。死者1万4,877人、行方不明9,960人、避難者11万9,656人という(5月7日現在警察庁まとめ)発表がなされています。R I 第2710地区として4,575万8,156円の貴重で心のこもった義捐金を賜りました。の中にはハワイ、台湾、韓国の各クラブの友好RC6クラブの義捐金も含まれており、心より感謝を申し上げます。この中より緊急救援物資を2,612,327円で調達し、3月28日、29日2便で浦戸桂島に送っております。一次締切を3月31日、二次締切を4月20日として集計しております。最終を6月20日で締切り、ガバナー会を通し被災地区への支援をする予定になっています。現在集まりました義捐金は全国で7億6,074万1,034円であり、これまで1億1,500万6,720円が7地区へ出金されています。今後ロータリーの取組みとして支援検討委員会で集約されながらロータリーらしさを前面におき、結束していく必要があります。育英基金や災害遺児の今後について等、公正であたたかい建設的な支援を検討し実行しようとするものであります。単年度で終了するものではありませんので、今後も支援策の検討を継続していかねばなりません。

今この時、個人の私欲を求めるのではなく、公の欲が大利につながるわけであり、正にロータリーの精神そのものの実行であります。理性にかなう公共心が公欲で、利己心が私欲と考えればこれからは大胆に、より豊かにより大きく決断が求められる時であると思います。これまでの世界や日本の史実を検証しながら、次代へむけた発想を必要とされています。ロータリーがこの大震災をみるにつけ、益々と地域社会の中でリーダーシップをとっていくよう努力をしていかねばならないと強く感じます。被災地区、東日本の再生復興を願い、西日本が頑張らなくてはなりません。どうか日本の未来のために手をつなぎましょう。



バストガバナー 岡田 幹 矢

ロータリー親睦活動月間によせて

6月は親睦活動月間になっております。

共通の職業的関心や趣味、保健、医療等への関心を持つロータリアン同志の国際親善や親睦の重要性を認識して、親睦活動への参加と理解を促進するため、R I 理事会により、2002年1月1日以降、「ロータリー親睦活動月間」として指定されました。

「親睦」という言葉からロータリー親睦活動は単なる遊び的な会の会合と誤解されがちなと思われるが、各クラブにある同好会と混同されることなく、ロータリー親睦活動は「ロータリーの綱領を推進する教育、保険、職業、環境、レクリエーションを含む、特定の有意義な活動を追及する」ロータリアングループであります。

R I はこうした共通のグループが趣味と職業を通じて、国際友好の輪を広げ、活動、行事を通じて「ロータリー親睦活動月間」を祝うよう

奨励しています。

新たに親睦グループを作る場合は定められた認定基準に従ってR I の親睦活動委員会と理事会の承認が必要ですが、R I はガバナーに対し、地区レベルの親睦活動行事を組織し実施するよう奨励しています。

また、「ロータリー章典」(43,010,1)によれば、「ロータリー親睦活動は、職業的またはレクリエーションの活動を遂行するための結束したロータリアンのグループであり」そして、「親睦活動の目的は、共通の関心を持つ人々が友情や親睦を深めることである」とされています。

当地区のロータリアンの皆様もウェブサイト、国際大会でロータリー親睦活動を検索され、広く仲間を見つけて、この活動に参加され、国際的な親睦を深めるとともに、奉仕活動に参加されることをお勧めする次第です。



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2010-2011

BUILDING COMMUNITIES-BRIDGING CONTINENTS / 地域を育み、大陸をつなぐ

ロータリー親睦活動(Rotary Fellowships)について

世界中のロータリアンが多年にわたり趣味または共通の関心事を楽しんできた世界親睦活動プログラムは、2002年まではロータリー趣味・職業別親睦活動(RRVF)として管理されていましたが、2002年1月よりロータリー親睦活動(RF)と改称されました。2005年6月の理事会で、職業・趣味などのグループは親睦活動で、奉仕を志向するグループはロータリアン行動グループ(Rotarian Action Group)と呼ぶことを決定しました。

両方とも新しいRIプログラム、『世界ネットワーク活動グループ(Global Networking Groups)』の範疇に属します。

ロータリー親睦活動プログラムは、単なるクラブやロータリアンの親睦活動ではありません。国際ロータリーの構成プログラムで、レクリエーション活動、専門職分、及びさまざまな保健や医療問題に共通の関心を持つロータリアンが参加するプログラムです。国際ロータリー理事会の認証が必要とされており、3カ国のロータリアンが参加するなどの条件を満たさなければなりません。

現在、サイクリングからワイン観賞まで、幅広い関心事に熱心なロータリー親睦活動グループは80以上あります。これらのロータリーの親睦グループは、国際ロータリーから独立した活動を行なっています。典型的には、会員は職業または趣味の技能を生かして奉仕をしたり、保健や医療に問題への意識を向上しています。

趣味、職業、または保健医療に関する活動は、友情を築き、国際理解を深め、世界社会に益をもたらす創意的で情熱を掻き立てる方法での奉仕活動を通じて、ロータリアンを結びつけています。

特別
企画

私たちのクラブ親睦活動を紹介します。

ロータリー親睦活動月間は国際奉仕の一部門であり、クラブやロータリアンの親睦活動を奨励するものではありませんが、ここでは地区内クラブから寄せられたクラブの親睦活動の、主に会員相互や家族の分野の一端をご紹介します、地区内クラブ間での情報交換に活かされることを期待しています。

光RC 親睦活動委員長 松原 祥文

楽しい野球同好会

私たち光ロータリークラブは野球同好会の活動が盛んなクラブです。ロータリーの友にも何度か紹介され、全国のRCから色々な試合のお誘いを頂くことがあります。そして、本年度は高知中央RC創立25周年記念事業として開催される「龍馬杯親睦ロータリー野球大会」にお誘いを受けました。

NHK大河ドラマ「龍馬伝」で大ブレイク中の高知に行かないわけにはいかないと、8月の暑い中、会員親睦旅行と野球遠征を同時に行なうという画期的とも無謀ともいえる企画を立案、実施致しました。

高知までは遠く、また今年是一段と激しい猛暑に見舞われ、大変ハードな旅行となりました。観光組とゴルフ組は楽しい充実した日程をこなしたようでしたが、野球同好会は炎天下の試合で日ご

ろの運動不足と体力不足がたり、主力メンバーが次々にリタイヤし、応援者の中になぜか怪我人も出るというハプニングの中、なんとか試合をしたといった感じでした。

しかし、試合後の懇親会は流石に土佐、美味しい料理と宴会芸を堪能して、昼間の疲れはどこへやら…とても楽しい時間を過ごさせて頂きました。ロータリアンの友情に乾杯でした。

試合の結果はともかく、試合の翌日は全員で高知の朝市をはじめ、龍馬伝由来の名所巡りを楽しみ、帰路につきました。とても暑い中のハードスケジュールの旅でしたが、今までにない有意義で楽しい旅行となりました。



柳井西RC

親睦委員会委員長 村岡 恭行

私たちのクラブ親睦活動を紹介します。

親睦委員会は、「ロータリー活動に積極的な参加と活動が出来るよう、会員及び家族の好意と友情を深める。そして参加することが楽しくなるようなロータリー活動を目指す」を当年度計画で掲げましたので、その一部を紹介します。

①例会出席者への出迎えについては、親睦活動委員会会員が揃って来場者へ挨拶しておりましたが、会長幹事の肝いりで本年度最も変化させたことは、「全親睦活動委員が来場者一人ひとりに眼を見て笑顔で挨拶を交わししっかり握手をする」を始めたことです。例会へ出席することにより新たに心を開いてもらい、スキンシップを図ることで“出席して良かった”の印象を与え、知人をつくり親しい友達になれるきっかけを作ることに役立っていると思います。

②入会式における新会員歓迎セレモニーにタクト指揮を仰ぎながら輪になって「手に手つないで」を合唱する。これによって新会員へ熱烈歓迎の意思表示をしております。

③新会員に早くクラブに馴染んで貰うため、例会出席者への出迎えのときに、委員がみんなで積極的に新会員を話題の中心に据えようとしています。

④親睦家族会は、新会員の新しいアイデアを積

極活用する。これにより新鮮な感覚を全会員が享受でき、会員一人ひとりへ新しい活力がもたらされます。

⑤同伴例会へのパートナーの参加を積極的に要請しています。委員会メンバーや会長幹事からの積極的な参加要請の働きかけのお蔭で、同伴例会への参加者数が相当増えました。

⑥趣味の会をはじめとする各種の同好会復活を図っています。ゴルフ他一部の同好会は継続中でしたが、休眠休憩中の同好会復活過程において、関係者が親しく会話を交わしその強化勧誘を含めて親睦の機会が増えています。

我が柳井西RCのロータリー活動は、多くの参加者があることに加え積極的な協力と関わりを頂いている関係上、非常に活発に機能していると思います。ひとつには和気藹々な仲間づくりの結果だとも思っています。



三次RC

親睦委員会委員長 沖田 憲司

恒例の「松茸すきやき」を楽しむ

本年度は地区幹事等を多く輩出していたので、毎月最終例会の夜間例会は例会会場で杯を交わしながら親睦を楽しんでいました。しかし、ガバナーを輩出しようが地区が忙しかろうが、やはり三次クラブは秋の松茸例会だけははずせません。地区



大会で食べ尽くしたと思われた松茸ですが、「松茸すきやき」の松茸、これだけは死守していたのです。

絶品の特上牛肉をベースに大きな松茸

をふんだんに入れて楽しみます。これには誰もが笑顔になり、地酒などを酌み交わして話も盛り上がります。公式訪問で忙しいはずの前田ガバナーも何時の間にか席におられました。



例年は家族同伴での開催です。このほか、お土産も楽しみな新年家族例会や家族同伴温泉旅行も行なっています。本年度が終わればたっぴりと親睦を深めること間違いなし。楽しみ、楽しみ。



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2010-2011

BUILDING COMMUNITIES-BRIDGING CONTINENTS / 地域を育み、大陸をつなぐ

広島東RC

親睦委員会 九十九 徹

私たちのクラブ親睦活動を紹介します。

我が広島東RCは創立後50年を超える伝統あるクラブですが、そんな当クラブの親睦活動について紹介をさせていただきます。活動内容を大きく二つに分けると一つは慶事事業で、会員の誕生日や結婚記念日にプレゼントを贈呈し、又年配会員に対しては古希、喜寿等のお祝い品を贈呈しています。

もう一つは親睦事業としての年間5回の夜間例会の実施で、会員家族に参加して頂く夏の家族会と冬のクリスマス家族会、そして新年夜間例会と新



クリスマス家族夜間例会

会員歓迎夜間例会、子クラブとの合同夜間例会の計5回のイベントが実施されています。予算的にも年間400万円以上を配分して頂き、クラブ内の委員会予算としては断トツの予算額となっています。

内容をもう少し詳しくお話いたしますと、会

新会員歓迎夜間例会



員家族を招く夜間例会ではご家族に楽しんでいただくだけでなく、参加体験型(ゲーム・ダンス・歌唱・演奏等)となるような企画を心がけています。

子クラブとの合同夜間例会は子クラブ創立以来の歴史(20年)が有り、双方が交代してホスト役となり相互のクラブ交流の良き潤滑剤となっています。

新会員歓迎夜間例会では、当該年度に入られた新会員の登竜門としての位置付けとして、新会員メンバー全員が一体となって企画と準備と事前練習を行い、夜間例会を盛り上げています。この場で養われた同期としての一体感を貴重な絆として、その後のRC活動に大いに役立っています。

以上、字数の制約も有り詳しい紹介は出来ませんでしたが、今後共他クラブの親睦活動の実態も参考にしながら、より一層クラブ内の親睦に寄与できる内容にすべく知恵を出して行きたい思います。

広島東南RC

親睦担当リーダー 橋本 浩二

親睦活動の紹介

今期当クラブ細田会長は、方針の中で「原点に立ち返り会員同士の親睦を充実していきたい、その事が今まで以上におもいやりのある豊かな人間関係を築く事になり、会員の活発な奉仕活動にもつながる。」と述べられています。

会長方針を受けて、新会員歓迎会(年2回)、支店長会員を囲んで松茸を腹一杯食べる会(秋)やふぐを腹一杯食べる会(冬)、バスで行く秋と春の家族会、等々実施しました。



今回は年末の家族例会を紹介します。

少ない予算で、みんなが喜ぶプレゼント盛りだくさんの大抽選会の家族会を開催しました。



プレゼントの調達は、会員の方から超破格値で提供いただき、中には協賛していただいた会員も。

液晶テレビ、ベント(子供用)、カメラ、版画、バス旅行、おせち料理、果物、お菓子など盛りだくさん。

勿論クリスマスディナーに生演奏、品よく、おいしく、仲良く、を忠実に守りながら楽しい家族会を開く事が出来ました。

松永RC

クラブ管理運営委員長 上重 和久

年3回の親睦活動

松永ロータリークラブでは、親睦活動を年3回、実施しています。夏の納涼家族会、冬の新年家族会、春の家族会とあります。今年は、春の家族会は中止となりました。(東日本大震災の為)

夏の納涼家族会では、ゲストを呼んで演奏を聞いたり、話を聞いていましたが、初めての試みで、会員によるカラオケ大会を開催する事にしました。最初はどのような事かと思いましたが、意外と、カラオケが始まると歌手になりきって歌う人や、笑いをとる歌い方や、様々な会員の個性を垣間見る場になり、より会員の絆が出来た一時でした。

冬の新年家族会も、カラオケ大会をして、前回



より更にグレードアップして大変楽しい会になりました。

今後も会員同士、「思いやりの心」を持って、ロータリーライフを満喫していこうと思います。

呉南RC

親睦(R家族)活動部会会長 石崎 俊史

呉南ロータリークラブ親睦活動のご紹介

親睦活動部会のカラーで毎年の内容はことなりますが、今年度我が呉南RCの親睦活動の基本思考は「手作り」です。ここで昨年の「クリスマス(忘年)家族例会」の一例をご紹介します。

まずは、約1ヶ月前に親睦活動メンバーで出し物の骨組みを作ります。色々な意見が出る中、クリスマスといえば聖歌隊、聖歌隊といえばゴスペル、しかしゴスペルはレベルが高く間に合わない…となれば「ドリフの少年少女合唱団」と決定されました。

その後、練習日を設定して仕事の合間と仕事が終わった時間帯に各部員が無理をしながら集合し、歌と踊りの厳しい練習(笑)を繰り返します。仕事でのポジションなどは一切捨て、恥も外聞も無い練習が続きます。会員手作りの鍋をつまみながら練習したり、終了後に皆で屋台に行ったりしながら

らの日々を送ります。素人がやる以上、お客様に理解していただくためには、できるだけ本物に近づけなければなりません。ということで全員の衣装調達も大変でした。その衣装作りは、ありがたいことに、親睦活動副部会長が手作

りで全部員の衣装を準備してくれたのでした。

当日は、早々に会員が集合し、最後の練習です。ここで5回ほどのリハーサルを繰り返し、本番に臨みます。所詮素人の集まりですので、ずっとけることもしばしば、そのたどたどしさに温かさがああり、我々も含めて会場全体で楽しむことができました。

「何でそこまでやるのか!？」と異論もあると思いますが、会員各位の絆を深める近道は、同じ目的を持つことです。最初は乗る気は無くとも一緒に練習を重ねると連帯意識が芽生えてきます。

そして、その思いが濃厚であればあるほど良い思い出作りとなり、後程花が咲くものです。

手作りにこだわる理由は、皆と仲良くなれる一番の近道だからです。

皆さん、一度、呉南ロータリークラブへ遊びに来ませんか!





GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

BUILDING COMMUNITIES-BRIDGING CONTINENTS / 地域を育み、大陸をつなぐ

2010-2011

徳山セントラルRC

親睦委員長 原田 正剛

楽しい親睦家族例会

会員数29名の小さなクラブです。1年前から中国から徳山大学へ留学中の米山奨学生をお世話しています。彼は月1回の例会出席も、クラブの行事にもこころよく参加してくれています。

今回は彼を講師にしての親睦家族例会「劉龍君の餃子教室」を紹介いたします。

昨年10月に米山奨学生の劉龍君を講師に招待して「劉龍君の餃子教室」を開催いたしました。会場は公民館のッキングルーム、一人50個の餃子が作れるように材料を用意いたしました。前日スーパーマーケットに劉龍君と餃子の材料の買い出しに行きました。麺棒等の道具も用意いたしました。

当日はみなさんエプロンと麺棒を持参で集まり



ました。参加者は6つのテーブルに分かれました。夫婦、親子で参加しました。

まず、各テーブルに材料を配



布、次いで講師の劉龍君が皮の作り方を教えました。大きなボールに小麦粉を入れて少しずつ水を加えながら耳朶位の硬さに練あげ、少しねかせます。続いてニラ、豚ミンチ、エビ、ホタテ、キクラゲを小さく刻んで具を作りました。ここまでは皆さん上手に出来ました。次にねかせてあった小麦粉を小さく切って麺棒で皮を作りました。丸く、まん中を少し厚めに延ばします。この皮で具を包み餃子が出来ました。

思い思いに水餃子、焼き餃子にして、ビールを片手に昼食をとりました。最後に劉龍君は素晴らしい手付きと速さであっという間に残してあった材料でみんなのお土産を作ってくれました。米山奨学生を交えた大変楽しい親睦家族例会でした。

福山東RC

例会運営委員長 山田 益司

福山東ロータリークラブクリスマス例会 ～愉快的な仲間のクリスマス晩餐会～

2010年12月15日(水) 18:30より、福山ニューキャッスルホテルにて、福山東ロータリークラブ会員39名、ご夫人27名、事務局員1名と、米山奨学生「劉 星辰」くんも参加し、総勢68名による盛大なクリスマスパーティーを開催いたしました。

この日のために、アトラクションは何がいいのか、どのような食事方法がよいのか、いつもロータリー活動を理解していただき、そして支えてくれている家族の方々に、「喜んでいただき」「感謝の気持ち」



を最大限に伝えられる方法は何が一番いいのか。委員会でも何度もくり返して話し合いを重ねていきました。

「大人のクリスマスパーティー」をテーマにして、1972年にバンド「満鉄&金ボタン」を結成された「筒井 賢とゆかいな仲間たち」に出演を依頼し、60分間のゆったりと大人の時間を過ごせるライブコンサートを決定。



当日のステージではR&Bをベースにポピュラーからスタンダードに至るまで、幅広いジャンルで演奏をしていただき、クリスマスの夜にリズム&ブルースを聞きながら、家族の絆と仲間の友情をより一層深めることができ、また会員相互の親睦を今まで以上に深めることができました。

三次中央RC

親睦委員長 角谷 俊典

三次中央ロータリークラブでは、年2回、会員家族参加のイベントを開催しています。



今年度は「ロータリー家族の絆を大切に」をテーマに夏の家族会『夏だ！祭りだ！縁日だ！』を開催。ヨーヨー釣り、ボールすくい、射的、自分で作る綿菓子等、子どもから大人まで楽しんでいただきました。

サプライズは、会員による石釜を使った手作りピザでした。また、いろいろな屋台の出店で、まさに小さな縁日のようでした。

冬のクリスマス家族会『クリスマスだよ 全員集合！』では、会長自らハッピーを来てのオープニングに始まり、その年話題となった人の仮装アトラクションでは、会場全体が大爆笑！さらに大絶賛だったのが会員の似顔絵の下絵にお子さんやお

孫さんが色を塗って仕上げた似顔絵、誰が見てもその人とわかる素晴らしいものでした。どの会員も、宝物として大切にされているそうです。

「来年の家族会も参加したい」というお声をいただき、こうした親睦活動を通して、クラブ会員、家族が、ロータリアンの絆で、一層強く結ばれるよう、努力してまいります。



広島陵北RC

親睦家族委員長 高野 憲一郎

私たちのクラブ親睦活動を紹介します。

広島陵北RC、本年度の親睦活動を紹介させていただきます。今年度は、1990年9月12日、広島北RCをスポンサーとして創立し、20年目という節目でもあり、広島陵北RC創立20周年記念式典並びに祝賀会を9月12日(日)にリーガロイヤルホテル広島で開催しました。日曜日の休みの日にもかかわらず、国際ロータリー第2710地区ガバナー前田茂様を始め多くの方にご臨席頂き盛大に行うことができました。

記念式典では、広島陵北RC小川嘉彦会長が、式辞で20年の沿革等を報告されました。祝賀会では、オープニング演奏、鏡開き、乾杯、アトラクションを行い、これからも一步一步、新しい歴史を築いていく、そんな式典のように感じました。



平成23年1月19日(水)に、12年振りに広島北・広島安佐・広島陵北3RC合同夜間例会を約120名の方に参加して頂き、リーガロイヤルホテル広島で開催しました。合同例会の後、懇親会では、今年度・次年度理事役員会の紹介を行い、アトラクションでは、インストゥルメンタルユニット大瀬戸千嶋による演奏をしてもらいました。また、恒例の「手に手つないで」も大瀬戸千嶋のお二人に演奏をして頂き、親・子・孫クラブの親睦を図る事ができ、楽しい時間が過ごせたと思います。





GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2010-2011

BUILDING COMMUNITIES-BRIDGING CONTINENTS/地域を育み、大陸をつなぐ

下関北RC 親睦委員長 福本 美洋

私たちの親睦活動を紹介します。

私たち下関北ロータリークラブでは今期会長テーマ「友情の輪を広げよう」にそって、例会及び各種行事に一人でも多くの会員及び奥様方に出席して頂けるように、明るく楽しい雰囲気作りに努めながら、真の友垣を作る。という方針のもと日々活動しています。



まず最初の大きな行事が8月の馬関祭りチャリティーバザーです。前日の夜間例会では奥様方にも出席頂き、皆さんが持ち

寄った品物の値段を決め箱詰めします。そして馬関祭り本番には奥様方が中心になり販売して頂き、男性陣はもっぱら裏方に徹し食事の接待や設営・後片付けが主な仕事になります。一緒に汗を流すと自然に親近感が湧きますね。

二番目は親睦家族旅行です。毎年恒例になっていますが、職業奉仕委員会と共同で一泊二日の親睦家族旅行に出かけます。一日目のお昼を職場例会とし学び、例会が終われば親睦旅行です。一家族の負担を出来るだけ少なくそして楽しんで頂

る計画を立てることは親睦委員会の腕の見せ所です。昨年は長崎に行きましたが、生憎の雨にも関わらず31名の参加、その内13名の奥様方にも参加して頂き、とても盛り上がり楽しい2日間でした。



親睦委員会の大事な活動の一つが例会です。日頃の役割りとは別に年2回、クリスマス家族会と忘年家族会があり、ここでも奥様方にご列席頂き日頃の労をねぎらいます。

下関北ロータリークラブではこのように年4回の家族例会(親睦旅行含む)があり、会員同士はもちろんのこと、家族の皆様とも親睦を深めることを常とし活動しています。ロータリーの基本は親睦



と伺っておりますので、残り2ヶ月ではあります、親睦委員長の職を全うすべく頑張っていきたいと思ひます。

広島南RC 親睦委員長 沖 正志

広島南ロータリークラブの親睦事業は、全会員が対象の新会員歓迎会、クリスマス家族例会、夫人同伴創立記念晩餐会、そして入会直後の会員対象の親睦委員会懇親会があります。

新会員歓迎会は新会員の紹介、会員との親睦を目的に8月下旬から9月上旬に開催致します。出し物のようなものは行いませんが、新会員の人が少しでも表せるよう工夫をしています。本年度は奥様のアンケート結果から本人当てのクイズを行いました。

クリスマス家族例会ではご家族を招待し、アトラクション、ご家族へのプレゼント、食事などで楽しみます。特に小さなお子様には好評で、お孫

さんと一緒に参加される会員が多く見受けられます。本年度のアトラクションはマジックとバルーンアートでした。

夫人同伴創立記念晩餐会は4月の第一週に行います。本年度は広島南ロータリークラブの55周年に当たり記念式典を行う予定でしたが、震災もあり例年通りの晩餐会となりました。

最後に親睦委員会懇親会ですが、親睦委員会を中心に毎月開催しております。新会員は入会すると親睦委員会に配属されます。まだ慣れていない新会員が少しでも早くロータリーに馴染めるよう懇親会で親睦を図っています。まだ始めて二年目ですが、今後も定着する事を期待しております。

広島RC 親睦委員長 廣谷 清

私たちの親睦活動

当クラブの岡本祐嘉会長は、本年度クラブ方針として「参加と奉仕」を掲げられ、「ロータリーの原点は親睦にあり、参加しなければ親睦は生まれない」とおっしゃいました。それを受けて、本年度の親睦委員会は「明るく、楽しく、そして美味しく」をモットーに全員参加型の年間計画を立案しました。委員会の活性化がクラブ全体の活性化につながり、その源は家族であります。感謝を表わす企画として家族会を企画しました。その流れを説明させていただきます。

まず委員会自体の活性化が何より優先と考えました。委員会の中で最大の大所帯であり、26名のメンバーを有しています。地元の方々と転勤族との比率が半分であり、いかに融合し活性化することが私の最大の任務であります。切り口は「明るく、楽しく、そして美味しく」であり、支店長の方々に広島を楽しんでいただけるか、地元のリーズナブルで美しい店の選定を行ない年5回のインフォーマル・ミーティングを企画しました。和洋中華と変化をつけて、毎回の楽しみとし支店長の方々がプライベートで活用できる選定に苦心しました。

次にクラブ全体の活性化を目的とした会員懇親会を例会場であるリーガロイヤルホテルで年に3回企画しました。参考の為にメニューを明記します。

- ・1回目は中華料理(皆、フカヒレに弱い)
- ・2回目は和食(すき焼きと新米は日本人のご馳走)



・3回目は洋食(鰯のフライ、オムライス)は人気メニュー)

一番苦心したのは、余興としての全員参加型のゲームです。テーブルごとの対抗戦は優勝という名誉がかかっているの、全員必死の形相で我を忘れ盛り上がりました。

最後は家族会です。年に3回のビッグイベントで最大の労力を費やしました。まず「カープ熱烈応援の夕べ」です。昨年9月3日阪神戦をズームズームスタジアムで熱い応援を繰り広げました。全員が一丸となり熱いムード！御蔭様で勝利の美酒を分かち合い最高のナイトゲームでした。

年末を締め括る最大のイベントが「クリスマス家族会」です。メンバー全員が最愛の家族に日頃の感謝を表わす場であり、細心かつ大胆な企画を考えました。ウェルカムドリンクに始まり、サンタクロースとトナカイの出迎え、記念撮影があり、子供さんには特製ブーツのプレゼント！家族の皆様には素敵な土産をご用意することに気を配りました。

バンドネオン演奏でのオープニング。地元の佐川峯さんにお越しいただきました。当日12月24日は佐川さんの91回目の誕生日であり、大変感慨深い夜となり思い出となりました。食事はクリスマスに因んで、洋食のオンパレード。特に人気が高かったのがリーガロイヤルホテル特製和牛ローストビーフで、皆さん美味しいものに弱いようでした。最後は恒例の大福引抽選会で盛会に幕を閉じました。

本来ですと春先に日帰り家族旅行を予定していましたが、先の東日本大震災の為自粛させていただきましたことをお知らせ申し上げます。





GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2010-2011

BUILDING COMMUNITIES-BRIDGING CONTINENTS / 地域を育み、大陸をつなぐ

第3回 派遣学生オリエンテーション・研修旅行報告

青少年交換委員長 灘岡直隆

2011年3月19日(土)ホテルグランヴィア広島において、2010-11年度 国際ロータリー第2710地区の第6回青少年交換委員会、第3回2011-12年度派遣学生オリエンテーションが開催されました。

このオリエンテーションが行なわれたのが、東日本大震災が起こった少しあとでしたので、当地区に來ている受入学生の安否・所在確認(旅行に行っていないかなど)や受入学生とその家族・交換相手地区クラブが継続して日本滞在を希望しているかの確認、国際ロータリー日本青少年交換委員会へ報告等、前田ガバナーにもアドバイス頂きながら委員会メンバー・地区事務局の全員で分担して準備協力頂きました。

オリエンテーションでは、交換相手国との進捗状況について、渡航手続き説明、質疑応答、派遣学生課題発表、研修旅行等について説明を行ないました。

派遣学生課題発表は、ロータリークラブ・自分のスポンサークラブ・自分の住んでいる日本・街・派遣先国の知識、日本文化・日本料理の紹介その他について日本語での発表でした。

最終的には、当地区(日本)のロータリークラブの国際親善大使として派遣先国でのロータリークラブの例会ほか多くの人前でも話が出来た事を目的に本年度も行なわれました。

次に4月2日(土)～3日(日)に行なわれた研修旅行の件ですが、「日本の首都を見る」という目的で当初研修先は東京を予定していましたが、震災の影響を考え、

また学生の安全、学生家族の安心等を考慮し、急きょ研修旅行先を島根県に変更しました。

参加者は、ロータリー関係者、派遣学生、受入学生、ローテックスの13名でした。

この研修旅行は、日本に來ている学生(インバウンド)を旅行させる事だけが目的ではなく、クラブや学校、ホストファミリー以外とも共同生活を送る事により、少しでも多くの日本の生活・習慣等を経験してもらう事が目的です。

これから派遣先国に行く学生(アウトバウンド)にとっては、インバウンド・ローテックスと一緒に過ごす、ゆったりとした時間の中、留学準備をすすめていく上で不安に思っている事を相談し、コミュニケーションを持ち少しでも不安を取り除き、これからの準備に役立てる事、そしてローテックスは、留学し帰国した経験をもとに両学生の良き相談相手となってもらう事を目的としています。

今回の研修旅行に対する学生の感想としては、日本古来の伝統的なものを沢山見る事が出来て良かった、予定の東京より良かったと思う、温泉に4回入った、出雲大社・手すき和紙体験・松江城見学・堀川の遊覧船など楽しかった、貸し切りバスだったので色々な話が出来たし、留学に対する不安がなくなって良かった等数多くの感想を帰りのバスの中で話してくれました。

私自身、一時研修旅行の中止も…と考えていたので、河本栄治副委員長・小田聡之委員・湊内久美子委員の協力のもと、学生達の大きな笑い声、沢山の笑顔が見られて本当に良かったと感じる楽しい研修旅行でした。

最後に震災で被害を受けられた皆さまが少しでも早く復興される事をお祈りし、また、当地区の青少年交換プログラムが今後もより一層充実したものとなるよう皆さまのご支援ご協力宜しくお願い申し上げます。





2012-13年度 ロータリー財団 国際親善奨学生 面接選考会を終えて

地区ロータリー財団
奨学金担当委員長 **児玉 常典**

国際奨学金プログラムである国際親善奨学金の提供は、2012-13年度ロータリー財団管理委員会指定の教育機関において1学年度(通常9ヶ月間全日制課程)学ぶ正規の学生に27,000ドルを与えられるものです。

この2710地区の2012-13年度面接選考会での奨学生の選考は、2011年4月24日(日)ホテルグランヴィア広島において、川妻二郎パストガバナー、2010-11年度、2011-12年度、2012-13年度の各財団委員長(3名)、同じく各年度の財団委員(3名)及び井内康輝面接官の8名で行いました。

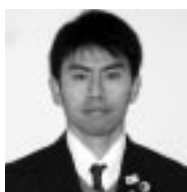
この度の面接者は3名でしたが、奨学生面接までには、事前に応募者に推奨クラブ・勤務先・最終学歴・役職・海外経験・小論文Ⅰ(今後の課題・職歴・ボランティア活動)、小論文Ⅱ(奨学金を希望する理由)等の書類を提出していただき、選考会メンバーが各自で事前チェックした上で面接に望み審査を行い、その結果2名の合格者の決定いたしました。

私は、前田ガバナー輩出の下で3年この面接選考会に財団委員として携って参りました。

面接選考会は総合判断で行います。応募者達の成績はもとより優秀な人が応募してきます。

当たり前のことですが、この3年間で選考委員として感じたことは、皆さん優秀なのですが、その中でも海外経験者は有利であり、海外経験者のない学生はもっと会話力をつけて望んでいただければとつくづく感じております。特に世界共通語である英語の読解力はあっても会話力が不足する人は、留学先の大学で困るのは本人ですから、なかなか難しいことですがスムーズに怖めず臆せず会話ができるよう努力することが重要であると感じます。

最後に、面接選考会を終えるにあたり川妻二郎パストガバナー(カウンセラー)から一言、「ロータリー財団の補助金制度が2013-14年度から全世界で実施される。教育的プログラムにおける奨学金だけでなく、2013-14年度より地区の裁量でプロジェクトができる等、新地区補助金制度は、今までのようなあり方ではなくクラブ会員全体がロータリー財団全体についてもっと理解し、良く知っておいて欲しい」という意味での要請がありましたことをお伝えして報告とします。



RA年次大会を終えて

R I 第2710地区ローターアクト代表
第34回年次大会実行委員長 **高橋 澄久**

はじめに、国際ロータリー第2710地区ローターアクト第34回年次大会を4月9日(土)・10日(日)の2日間、福山市において盛大に開催することができましたのも、ご来賓をはじめ、ロータリアン、ローターアクトOB、OG、そして地区内外のローターアクトクラブの皆様のご協力あったことと心より感謝しております。

さて、今回の年次大会は地区ターゲットである「歩〜歩幅をあわせよう〜」を大会テーマといたしました。今大会の準備を進めるにあたり、あらためてローターアクトの活動は、さまざまな人との歩みによって成り立っていると感ずることができました。このような機会を与えていただいたことに、本当に感謝しています。

また、今大会のメインプログラムでは、2710地区

内の各クラブ、さらには他地区の代表の方にも、日頃行っている活動の報告をして頂きました。それぞれに特色があり、とてもユニークな活動も多くありました。メインプログラムに参加された皆様からは、今度ぜひ他クラブの行事にも参加してみたいとか、自クラブの活動の参考になったという声もあったので、他クラブや他地区とのつながりを強めるには、良いきっかけになったのではないかと思います。

最後になりましたが、今大会をこうして無事に終えることができましたのも皆様のご協力あったのことに感じております。今大会を通して経験したこと、学んだことを生かして、今後ますます充実したローターアクト活動が行えるよう皆様と共に歩んで参りたいと思います。

年次大会集合写真





GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2010-2011

BUILDING COMMUNITIES-BRIDGING CONTINENTS / 地域を育み、大陸をつなぐ

クラブ便り

三原ロータリークラブ創立50周年を迎えて

三原ロータリークラブ会長 畑井和則

平成23年4月24日、国際ロータリー第2710地区ガバナー前田茂様、参議院議員溝手顕正様を始め、多くのご来賓、ロータリアンの皆様にご臨席賜り、難波幸一実行委員長のもと、三原R C創立50周年記念大会を盛大に挙行することができました。

三原ロータリークラブは、尾道ロータリークラブをスポンサークラブとして1961年4月4日創立発会式を、そして6月27日にR I 認証を受けてスタートすることができました。チャーターメンバー23名で発足いたしました。現在会員も増強され68名でその活動を進めています。

また、1964年に竹原ロータリークラブ、1968年に瀬戸田ロータリークラブ、1994年に広島空港ロータリークラブという三つのクラブの設立に関わってまいりました。そして1965年に現在の如水館高等学校インターアクトクラブを発足させ、社会奉仕、国際奉仕にと素晴らしい活動を展開していただいています。

50周年の記念事業として、三原市にA E Dの訓練器を2台寄贈いたしました。岡村徳男会員の写真集「みはらの風景」をCDにして市内の小中学校や公共施設に配付いたしました。



三原市写真集



そして、一般市民をお招きしての辻井いつ子氏の記念講演、熊本マリ氏のコンサートという記念事業も三原市芸術文化センター「ポポロ」の会場もほぼ満席という状態で、大成功の裡に終えることができました。また11月25日には「アンサンブル・ベルリン」のコンサートも予定しています。



辻井いつ子氏の
記念講演



熊本マリ氏のコンサート

本年は過去50年の集大成の年であり、新たな50年への出発の年でもあります。

地域に対して何をすべきか考え、クラブ会員がそれぞれの仕事の品位を高め、知り合いを広め、国際間の理解と親善を推進するというロータリーの綱領の原点を見つめなおし、私たち三原ロータリークラブは、次なる半世紀に向けて新たな一歩を踏み出します。今後とも三原ロータリークラブに対して今まで以上に温かい、ご理解とご指導をお願いいたします。

創立50周年記念式典





R I 2710地区の皆様

地区マッチング・グラントで ボリビアの水頭症患者を 7年間でのべ500人救済

東広島21RC ■ボリビア水頭症治療プロジェクト

ボリビアの第4690地区からの地区大会レポートが、昨年秋の当第2710地区大会に特別参加された長谷川幸雄氏(ボリビア:チュキアゴ・マルカRC)より土肥慎二郎氏(東広島21RC)に送られてきましたので、ご紹介いたします。

土肥様

その後はお変わりありませんか？

当地は冬型気候に入り、日中は暖かいのですが、朝・晩は相当冷え込んできました。

4月28日(木)から5月2日(火)までオルロ市へ地区大会出席の為旅行しました。参加者は御婦人方を含め310名のみ、やはり不況のせいと察せられます。

4月28日は来期三役のPETSと地区役員の懇談、小生は2年目のDGSCの御指名を賜ったので一応懇談会に参加しました。

この機会を利用して、地区の諸幹部と種々打ち合わせをし、その折、2710地区よりの派遣留学生、中野隆基君と共に、ガバナーをはじめ元ガバナー、そして来期ガバナーとの話し合いの上、4690地区大会決議案として、東日本大震災に対する議決書=SUPPORT & SOLIDARITY=宣言を日本政府へ提出する事の承認を得ました事をお知らせします。

この議決書を48のクラブへ送付、来る12月末までに義援金を募る事に決定しました。ボリビアのロータリアンは経済的基盤が低いので大したお金は集まらないと思いますが、今まで日本政府より莫大な援助を得てきており、その返礼として、精神的面でAPOYO/SOLIDARIDADをお伝えするという事になると思います。

地区大会に於いて、満場一致で賛同を得る事が出来た背景には、この7ヶ年間、継続して水頭症バルブをボリビア社会=特に貧困患者=へ、ロータリアンを通じ無償提供して来た努力が実ったと思われます。この様な年一回の廻り合わせという絶好のチャンスを機に、この7ヶ年のバルブの提供実績明細を発表、もう5個で通産500個、約15万ドルにも達すると公表。これらは2710地区と東広島及び西条RCの御協力と御支援があって実現出来た旨を説明いたしました。とにかく、大勢の方々から途切れる事なく今後ずっと継続して提供くださる様にとの熱のこもった依頼を受け、目下、貴殿たちと色々努力中なるも、今、確とした返事が出来ない旨を伝えました。

先般もお知らせしましたが、近日中に当クラブよりの義援金2千ドル、それに先日の地区大会にて集まった293ドル、合計2293ドルを国際ロータリー東京事務所経由にて送金する予定で居ります。来る6月25日から7月5日までメキシコのカンクーンへ旅行予定、出来ればその前に諸手続きが出来ればと期待しています。

会員諸氏へ宜しくお伝えよう。

長谷川 幸雄

水頭症の患者さんを病院に見舞う
(写真は東広島21RCの土肥慎二郎氏)





GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2010-2011

BUILDING COMMUNITIES-BRIDGING CONTINENTS / 地域を育み、大陸をつなぐ

国際ロータリー第2710地区 2010-11年度/74RCの会員増減・出席率

クラブ名	出席率(%)		当 月 例会数	会員数(人)								
	当 月	平 均		年度初 (7/1)	前月末	当 月				本年度		
						入会者	退会者	末日	内女性	入会者	退会者	増減
グループ1 7クラブ												
長 門	83.64	84.10	4	34	32	0	0	32	5	0	2	▲ 2
下 関	92.81	88.89	4	49	48	2	0	50	1	5	4	1
下関中央	79.54	84.01	4	30	30	1	0	31	5	2	1	1
下関東	90.90	83.22	3	52	49	0	2	47	0	3	8	▲ 5
下関北	80.80	83.47	4	42	43	0	0	43	0	4	3	1
下関西	90.35	93.60	4	30	36	1	0	37	1	7	0	7
油谷湾	100.00	99.81	4	13	14	0	0	14	0	1	0	1
計	88.29	88.16		250	252	4	2	254	12	22	18	4
グループ2 7クラブ												
萩	89.31	92.20	4	57	56	1	0	57	0	2	2	0
萩 東	97.91	96.35	4	24	24	0	0	24	0	0	0	0
美 祢	70.54	76.09	4	27	28	0	0	28	0	2	1	1
小野田	80.73	84.54	4	49	48	0	0	48	0	3	4	▲ 1
宇 部	81.93	86.98	4	52	54	0	0	54	2	3	1	2
宇部東	67.04	70.34	4	20	21	1	0	22	4	3	1	2
宇部西	86.70	87.50	4	51	54	0	0	54	1	3	0	3
計	82.02	84.86		280	285	2	0	287	7	16	9	7
グループ3 7クラブ												
防 府	93.82	89.86	4	61	63	0	2	61	0	4	4	0
防府北	91.25	93.00	4	20	21	0	1	20	1	3	3	0
防府南	84.85	85.81	3	30	31	2	0	33	6	5	2	3
山 口	94.73	94.64	4	51	55	1	1	55	3	9	5	4
山口中央	86.00	85.80	4	7	7	1	0	8	2	2	1	1
山口県央	97.20	97.68	4	35	34	2	0	36	1	4	3	1
山口南	80.05	81.20	4	38	37	0	0	37	3	2	3	▲ 1
計	89.70	89.71		242	248	6	4	250	16	29	21	8
グループ4 5クラブ												
光	92.86	93.56	4	50	49	1	0	50	0	2	2	0
周南西	100.00	100.00	4	40	42	0	0	42	2	3	1	2
徳 山	98.81	97.20	4	41	44	1	0	45	1	11	7	4
徳山セントラル	93.97	91.37	4	28	29	0	0	29	1	2	1	1
徳 山 東	98.40	98.31	4	50	48	1	1	48	0	1	3	▲ 2
計	96.81	96.09		209	212	3	1	214	4	19	14	5
グループ5 5クラブ												
岩 国	73.79	80.83	4	59	63	1	0	64	0	7	2	5
岩国中央	85.71	87.96	4	43	44	0	0	44	3	2	1	1
岩 国 西	81.81	86.21	4	63	64	0	2	62	2	3	4	▲ 1
柳 井	100.00	100.00	4	28	31	0	0	31	2	4	1	3
柳井西	95.77	96.79	4	28	29	1	0	30	2	3	1	2
計	87.42	90.36		221	231	2	2	231	9	19	9	10
山口県計	88.85	89.84		1,202	1,228	17	9	1,236	48	105	71	34
グループ6 7クラブ												
広 島	97.78	98.11	4	121	126	0	0	126	1	10	5	5
広島安芸	98.33	98.85	4	38	39	0	0	39	2	1	0	1
広島安佐	88.79	88.94	4	22	21	0	0	21	1	1	2	▲ 1
広 島 東	96.38	96.63	4	93	91	2	0	93	4	9	9	0
広 島 北	100.00	100.00	3	78	77	0	0	77	0	3	4	▲ 1
広島陵北	98.16	96.99	4	41	41	0	1	40	0	2	3	▲ 1
大 竹	87.15	82.18	4	33	34	1	0	35	0	4	2	2
計	95.23	94.53		426	429	3	1	431	8	30	25	5



2011年 4月度

クラブ名	出席率(%)		当 月 例会数	会員数(人)								
	当 月	平 均		年度初 (7/1)	前月末	当 月				本年度		
						入会者	退会者	末日	内女性	入会者	退会者	増減
グループ7 7クラブ												
広島中央	100.00	100.00	4	57	59	0	0	59	4	4	2	2
広島廿日市	93.18	90.98	4	35	33	0	0	33	1	2	4	▲2
広島城南	97.29	96.91	4	41	46	0	0	46	1	5	0	5
広島南	97.20	97.31	4	84	89	1	2	88	0	10	6	4
広島東南	100.00	99.89	4	85	89	0	0	89	8	6	2	4
広島西南	100.00	99.71	4	63	62	2	1	63	3	4	4	0
広島西	100.00	99.85	4	85	82	1	0	83	0	2	4	▲2
計	98.24	97.81		450	460	4	3	461	17	33	22	11
グループ8 7クラブ												
江田島	99.62	88.49	4	19	19	0	1	18	0	1	2	▲1
東広島	98.92	98.83	4	31	31	0	0	31	2	1	1	0
東広島21	91.25	93.30	4	17	20	0	0	20	5	3	0	3
呉	91.14	93.07	3	69	69	0	0	69	0	4	4	0
呉東	93.13	90.68	4	32	31	0	0	31	0	1	2	▲1
呉南	94.68	90.50	4	46	48	0	0	48	3	2	0	2
西条	99.49	99.20	4	52	49	0	0	49	3	2	5	▲3
計	95.46	93.44		266	267	0	1	266	13	14	14	0
グループ9 7クラブ												
広島空港	85.42	81.10	4	26	24	0	0	24	2	1	3	▲2
因島	84.82	88.65	4	28	28	0	0	28	2	2	2	0
三原	90.82	88.72	4	68	69	0	1	68	2	4	4	0
尾道	86.88	86.82	4	72	70	0	0	70	1	4	6	▲2
尾道東	90.33	88.66	4	55	56	0	0	56	1	2	1	1
瀬戸田	90.90	87.05	4	15	11	0	0	11	0	0	4	▲4
竹原	90.01	91.18	3	37	38	0	1	37	4	2	2	0
計	88.45	87.45		301	296	0	2	294	12	15	22	▲7
グループ10 5クラブ												
府中	80.39	88.63	3	37	35	0	0	35	0	0	2	▲2
福山	94.47	94.88	4	83	81	3	1	83	0	5	5	0
福山東	92.31	87.47	4	52	54	1	0	55	0	4	1	3
福山丸之内	93.05	95.36	4	36	36	0	0	36	1	0	0	0
鞆の浦	91.67	86.20	4	34	33	0	0	33	0	1	2	▲1
計	90.38	90.51		242	239	4	1	242	1	10	10	0
グループ11 5クラブ												
福山赤坂	82.39	83.78	4	39	44	2	1	45	4	7	1	6
福山北	100.00	98.71	4	44	47	0	0	47	0	3	0	3
福山南	82.35	83.72	3	61	59	0	0	59	1	3	5	▲2
福山西	92.27	89.27	4	42	42	0	0	42	2	1	1	0
松永	89.28	89.63	4	43	42	0	0	42	0	1	2	▲1
計	89.26	89.02		229	234	2	1	235	7	15	9	6
グループ12 5クラブ												
吉舎	97.35	96.98	4	21	20	0	0	20	0	0	1	▲1
三次	84.09	83.69	3	43	45	0	0	45	0	2	0	2
三次中央	95.10	95.61	4	48	51	0	0	51	8	3	0	3
庄原	87.49	89.86	4	37	38	0	0	38	4	2	1	1
東城	80.00	82.00	4	19	20	0	0	20	1	3	2	1
計	88.81	89.63		168	174	0	0	174	13	10	4	6
広島県計	92.26	91.77		2,082	2,099	13	9	2,103	71	127	106	21
2710地区計	90.56	90.81		3,284	3,327	30	18	3,339	119	232	177	55



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2010-2011

BUILDING COMMUNITIES-BRIDGING CONTINENTS / 地域を育み、大陸をつなぐ



G12 第2710地区グループ紹介

[吉舎・三次・三次中央・庄原・東城]

G12ガバナー補佐

村竹 昇 (三次中央RC)

グループ12は、三次市、庄原市の2市、5クラブです。中国山地の備北は、春は桜、夏は三次の鵜飼、秋は霧の海、庄原国営備北丘陵公園の約100種150万本のコスモス、帝釈峡の紅葉、そして、奥田元宋・小由女美術館や広島三次ワイナリーがあります。

今年度は、グループ12の親クラブである三次RCより前田茂地区ガバナーが就任しておられます。また、三次RCは今年度創立50周年を迎えました。三次RC中川会長は、地区役員、地区大会役員にクラブメンバーが大勢関わり、大変厳しい年度のなか奮闘され、次年度ガバナー補佐としても活躍されます。

東城ロータリークラブ横山会長は、会員21名と少数ですが訪問者への歓迎を大切にされ、家族のような雰囲気での例会をされています。

吉舎ロータリークラブ三浦会長率いる20名の会員さんは、平均出席率98.3%です。奉仕プロジェク

ト委員会で「ホタルの里づくり」活動をしておられます。

庄原ロータリークラブ内田会長はアットホームで友好的、連帯感あるクラブ作りを提唱されています。また、何といたっても米山記念奨学生の受け入れを毎年熱心に行なっています。

最後に、三次中央ロータリークラブ信国会長は、クラブ運営基盤は会員増強であり、クラブの財産は会員であることを周知徹底し、つねに会員増強に対する意識向上を図り、地域社会への貢献プログラムに力を入れています。

そして、グループ12では今年度に入る前からグループ12会員増強合同委員会を作り、各クラブの増強委員長によるプロジェクトを組み、目標を定めて会合を重ねてきました。現在では目標達成ができていると考えております。

今後、グループ12では家族意識を持ち、兄弟で活動できることを誇りにしたいと考えております。

新会員紹介

(順不同)



斎藤 英樹
下関RC
2011年4月25日
病院



黄瀬 善彦
下関RC
2011年4月25日
生命保険



村重 百代
防府南RC
2011年4月7日
衣類販売



藤本 和夫
防府南RC
2011年4月7日
不動産業



河合 宣行
山口県央RC
2011年4月20日
衛星通信



山田 晃
山口県央RC
2011年4月5日
銀行



有井 聡
山口県央RC
2011年4月12日
銀行



松下 敬
徳山RC
2011年4月14日
石油精製



原 茂
岩国RC
2011年4月14日
化学工業薬品製造



野口 嘉一
柳井RC
2011年3月1日
普通銀行



高松 恒
柳井西RC
2011年4月7日
普通銀行



市川 太一
広島東RC
2011年4月13日
大学教育



和田 敏夫
広島東RC
2011年4月13日
食品小売



鈴木 文男
大竹RC
2011年4月5日
エンジニアリング



瀬戸 一清
広島西南RC
2011年4月12日
土地家屋調査士



佐古 雄司
広島西南RC
2011年4月12日
縫製業



神尾 昌則
広島西RC
2011年4月7日
内科医



神崎 元宏
福山RC
2011年4月4日
電力供給



佛園 公典
福山RC
2011年4月4日
テレビ放送



森岡 美朗
福山RC
2011年4月18日
ボンブ製造



上杉 純平
福山東RC
2011年4月6日
事務機器販売



釜野 公夫
福山赤坂RC
2011年4月5日
観光事業



中根 基博
福山赤坂RC
2011年4月12日
学校理事

謹んで
哀悼の意を
表します



福山赤坂RC
故 赤坂 英一 殿
2011年4月18日ご逝去 (享年78歳)

【ロータリー歴】
2001～2002年度 会長
2001～2002年度 ボール・ハリス・フェロー
2010～2011年度 米山功労者

職業分類/牧師



文庫通信 (284号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ガバナー月信を中心に新着の資料から

- ◎「ロータリーから、あなたへ。(2000年国際協議会講演より)」リチャード・キング 2011 2p (D.2500月信)
- ◎「魅力的なロータリークラブ」北 清治 [2010] 4p (D.2530地区協議会記録) ◎「ロータリーの源流」 田中 毅 2011 21p (D.2640月信)
- ◎「ベンジャミン・フランクリン・コリンズのスピーチ原稿について」成川守彦 2011 4p (D.2640月信)
- ◎「ロータリーの基本精神—寛容と奉仕の心」上野 操 2011 1p (D.2580月信) ◎「出会いの不思議と面白さ」渡辺好政 2011 2p (D.2500月信)
- ◎「『ノーブレス・オブリージュ(高貴なる者の義務)』について」織田吉郎 2011 1p (D.2790月信)
- ◎「青少年はロータリーの継承者」若林洋一 [2011] 9p (D.2710地区大会特集号) ◎「CLP導入しました」天神正人 2011 2p (D.2500月信)

[上記申込先: ロータリー文庫(コピー/PDF)]

震災に関して

- ◎「その時ロータリーは…」阪神・淡路大震災第2680地区の記録」 D.2680 1995 107p [申込先: ロータリー文庫(コピー)]
- ◎「震災7それでもわが大地を愛す(新潟県中越地震復興支援活動の記録)」D.2560 2005 48p [申込先: ロータリー文庫(コピー/PDF)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

(財)ロータリー米山記念奨学会ニュース ★ハイライトよねやま134号★ 2011年5月12日発行

今月のトピックス

1. 寄付金速報 — 年度末まであと1ヵ月半 —
2. 震災から2ヵ月、米山学友の支援活動
3. タイで初めての「学友の集い」開催
4. 東京米山友愛RCが創立1周年を迎えました
5. 台湾に新しい日本語クラブが誕生 — 学友が初代幹事に —

▼ PDF版はこちらをご覧ください。

http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highlight134_pdf.pdf

ガバナー月信vol.11(5月号) P5「インターアクトクラブ海外研修を終えて」の終わりから6行目以下に以下の通り誤りがございましたので、お詫びして訂正申し上げます。
(誤)次年度委員長予定者の金井哲明様 ⇒ (正)次年度委員長代理の金井哲明様

【表紙の写真】 夜空に乱舞するホタル／三次市吉舎町

6月中旬は吉舎町で「ホタル祭」が開催されます。虫声とせせらぎの音に包まれた夜空に約3,000匹のホタルが乱舞する絵は、どこかしら懐かしい故郷の原風景を思わせます。

吉舎RCは「ホタルの里づくり」プロジェクトとしてクラブで取り組み、河川清掃等でホ

タル繁殖環境を創出し、住民参加型事業で活動の輪を広げています。

また地元小学校での「ホタル授業」や鑑賞会等を通じて青少年への環境・水保全の意識を高める活動をしています。夜空に映えるほのかな蛍光は、節電とは無縁の自然の宝です。

国際ロータリー第2710地区事務局

所在地 〒732-0822 広島市南区松原町1番5号 ホテルグランヴィア広島6F
TEL: 082-506-0055 FAX: 082-263-2323
E-mail: info@ri2710.com URL: <http://ri2710.com/>
月信編集委員 丸田 洋司、増田 茂典、坂部 由香子、吉崎 秀峰、中島 清祐、竹田 則之
事務局員 岡崎 由美、布施 美佐子

2010-11年度 ガバナー月信表紙写真ギャラリー



2010年7月号〈vol.1〉三次の観光鵜飼



2010年10月号
〈vol.4〉
義士堂／鳳源寺（三次市）

2010年12月号
〈vol.6〉
国営備北丘陵公園の
ウィンターイルミネーション
庄原市

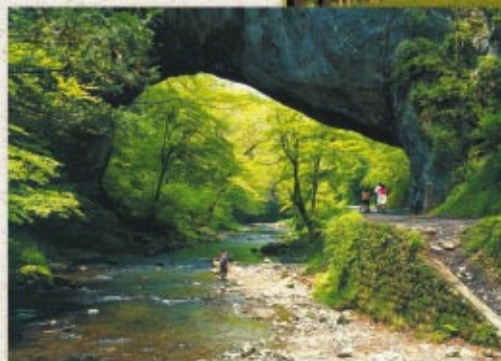


2011年1月号〈vol.7〉
霧の名所高谷山からみる日の出／三次市



2011年4月号
〈vol.10〉菜の花

2010年8月号
〈vol.2〉
七塚原牧場／庄原市



2010年9月号
〈vol.3〉
帝釈峡雄橋／庄原市東城町

2010年11月号
〈vol.5〉
「お通り」の母衣行列
庄原市東城町



2011年2月号
〈vol.8〉
三次人形の彩色作業／三次市



2011年3月号〈vol.9〉
舞台狭しと舞う「こども神楽」
／三次市穴笠町



2011年5月号
〈vol.11〉
帝釈峡「神龍湖開き」
庄原市東城町

